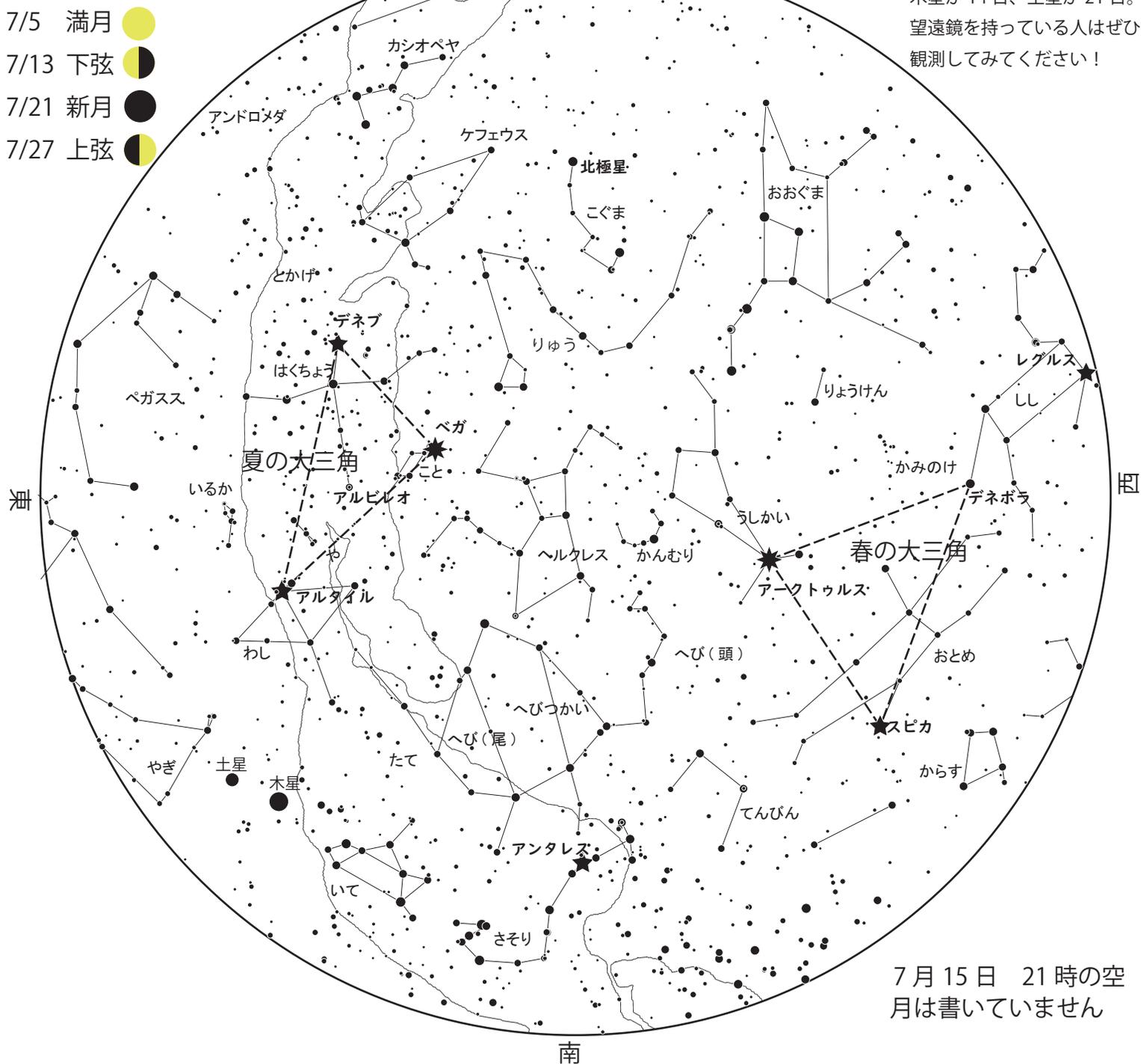


姫路で見る 2020年7月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

7月は木星と土星が見頃です！
一晩中見える「衝」の日は
木星が14日、土星が21日。
望遠鏡を持っている人はぜひ
観測してみてください！



7月15日 21時の空
月は書いていません

7月になると、春の主役だった星座たちが西の空へと移動していき、夏の星座たちが、いよいよ出番だ！とばかりに昇ってきています。南の空の低いところには、お誕生日の星座であり、夏を代表する星座のさそり座があります。さそり座を見つけるには、まず1等星の**アンタレス**を探してみましょう。周りの星と比べると赤く光っている星なので、よく目立ってすぐに見つけることができます。アンタレスとは「火星の敵」という意味です。しばしば、さそり座の近くにやってくる火星と、まるで赤さを比べて競い合っているように見えることからこの名前が付けられました。アンタレスから下へと明るい星をたどると、釣り針のような形に星が並んでいます。この並びがさそり座のしっぽの部分です。毒を持つしっぽをぐるりと曲げているさそりを想像しやすい、とてもきれいで見事な星の並びです。そして、東の空には夏の大三角が見えています。7月7日といえば、七夕の物語。東の空で明るく輝く白い星が、織姫星。織姫星はこと座の1等星**ベガ**です。ベガよりも南側に輝く明るい星が彦星で、わし座の1等星**アルタイル**です。7月7日の七夕は、まだ梅雨の真っただ中。お天気に恵まれるチャンスが少ないかもしれませんが、実は七夕は年に一度だけでなく、月遅れの8月7日、そして伝統的七夕の8月25日と、合計3回の七夕があります。月遅れ、伝統的七夕のころには梅雨も明けて、晴れるチャンスも多くなり、織姫星と彦星も見つけやすくなることでしょう。七夕をきっかけに、ぜひ星座の星たちを探してみてくださいね。